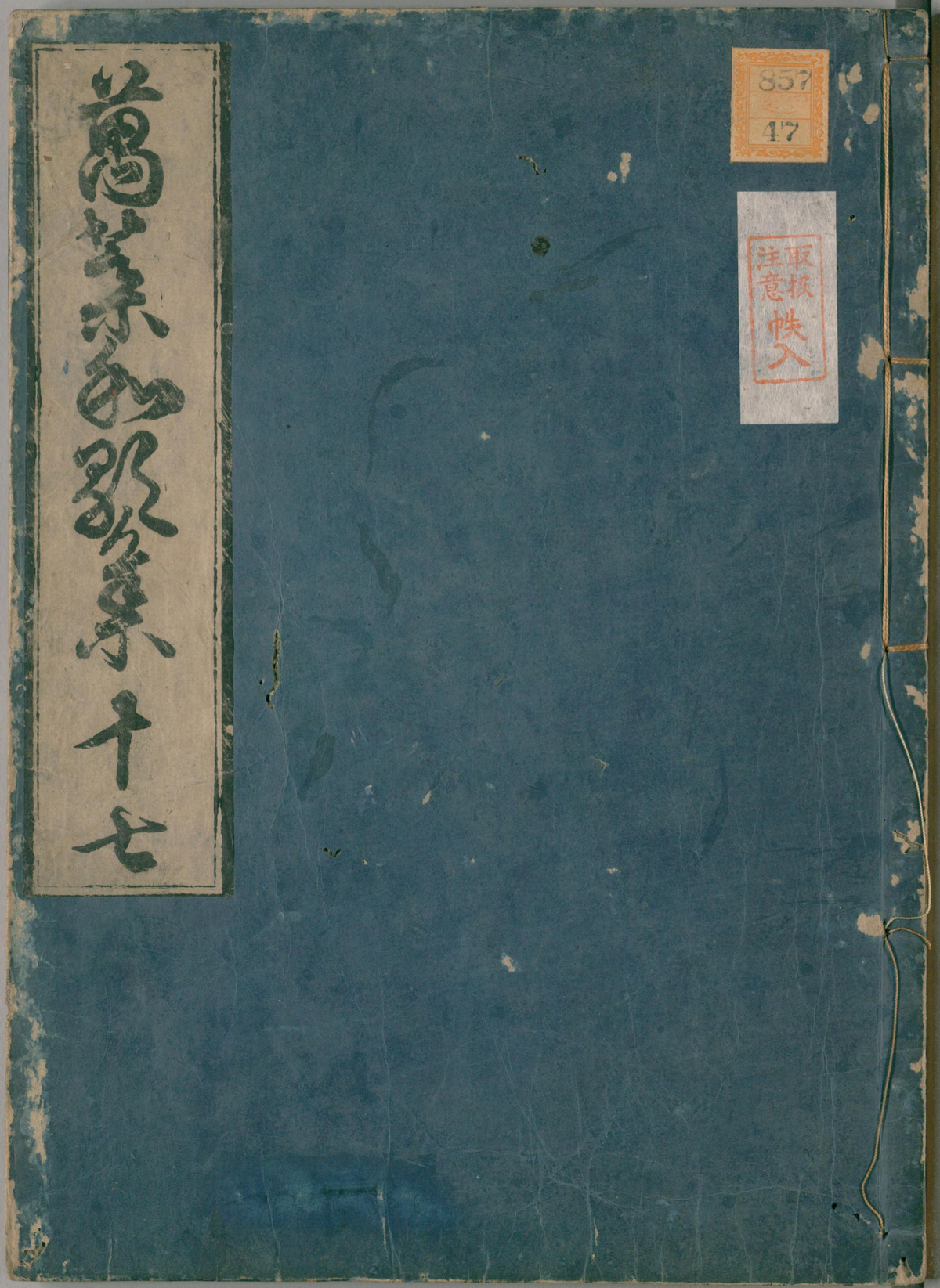
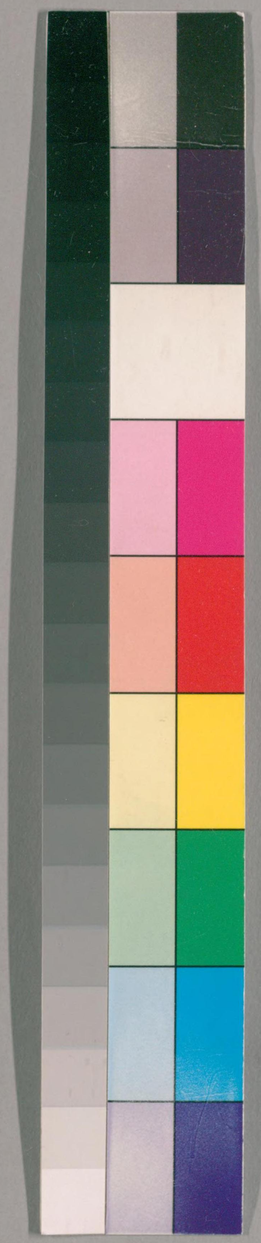




国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47

ガラス使用

萬葉集卷第十七

長十四首 短百廿六首 合百四十一首 詩二首 旋頭一首

天平二年庚午冬十一月太宰帥大伴卿被任大納言上京時從人等別取海路入京於是悲傷驒騮旅各陳所心作歌十首

同十年七月七日大伴宿禰家持獨仰天漢聊述懷歌一首

同十二年十一月九日大伴宿禰家持追和太宰時梅花新歌六首

同十三年二月右馬頭境部宿禰老麻呂讃
三香原新都歌一首并短歌
同年四月二日大伴宿禰書持詠霍公鳥贈
兄家持歌二首
三日内舎人大伴宿禰家持従久邇京報送
弟書持歌三首
田口朝臣馬長(ウマカ)恩霍公鳥歌一首
山邊宿禰明人(赤下)詠春鶯歌一首

同十六年四月五日大伴宿禰家持於平城(ヒラキ)
故郷作歌六首
同十八年正月白雪零左大臣橘卿率王卿
等參入太上皇御在所作歌五首十六首
同七月越中國歌二首
更贈越中國歌二首
平羣氏女郎贈越中守大伴宿禰家持歌十
郎女贈家持(家持)歌二首

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

二首

八月七日夜宴飲(二)越中館(亡)下(二)時守大伴宿禰家持歌一首

掾(緣)大伴宿禰池主作歌三首

守大伴宿禰家持歌二首

掾(緣)大伴池主歌一首

守大伴家持歌一首

大目秦忌寸八千島歌一首

大原高安真人作歌一首

守大伴家持歌二首

史生土師宿禰道良歌一首

大目(目)秦忌寸八千島館宴歌一首

九月二十五日大伴家持遥聞弟(二)喪(ヲ)感傷(亡)歌一首并短歌

十一月越中守大伴家持大帳使掾(緣)(官下效之)大伴池主還到本任(二)時相歡歌二首

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

同十九年二月二十日大伴家持卧病悲傷歌一首并短歌

守大伴家持贈拯大伴池主悲歌二首并序

同二十年二月二十九日守大伴宿禰家持作歌二首

沽洗二日拯大伴池主更贈歌一首并短歌

三首

三月三日大伴家持送拯大伴池主七言詩

一首并序

四日大伴池主奉和守家持詩歌二首并短歌

五日拯大伴宿禰池主奉守家持詩一首并序

同五日大伴家持短歌二首

二十日大伴家持起戀情哥一首并短歌四首

四月大伴家持未聞霍公鳥歌二首

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

三月二十九日大伴家持（依興而作）上山賦一首
（此行當刪除）
三十日大伴家持依興作歌一首
四月十六日大伴家持聞霍公鳥述懷歌一首
大目秦忌寸（八千島館中）餞大伴家持歌二首
二十四日守大伴家持遊覽布勢水海賦一首
并短歌
二十六日掾大伴池主（館）餞守大伴家持（宴）時家持作歌一首
（以下ノ三首自錄前去）
介内藏忌寸繩麻呂（名闕）餞守大伴家持和（名闕）繩麻呂歌一首
大伴池主傳誦（名闕）石川朝臣水通橘歌一首
同日守大伴家持舘（名闕）飲宴歌一首
二十七日大伴家（名闕）持立山賦一首

賦一首并一絶
二十六日掾大伴池主（館）餞守大伴家持（宴）時家持作歌一首
（以下ノ三首自錄前去）
介内藏忌寸繩麻呂餞守大伴家持和繩麻呂歌一首
大伴池主傳誦石川朝臣水通橘歌一首
同日守大伴家持舘飲宴歌一首
二十七日大伴家持立山賦一首

當改云廿日大目秦忌寸八千嶋館守大伴宿祢家持以正税帳向入京宴時卿陳相別之歌作寺二首

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

後
二十八日。大伴池主敬和守大伴家持立山
賦一首 弁二絶 二字當前
三十日守大伴家持贈二掾大伴池主一歌一首
弁一絶
五月五日掾大伴池主報二和守大伴家持述懐一歌
一首弁二絶
九月二十六日守大伴家持思二放逸鷹夢一感
悦作歌一首 宜 弁短歌

高市連黒人歌一首
同二十年春正月廿九日 仲 辺上四字宜本无之 守大伴家持宿二禰家一持歌四首
守大伴家持春出挙巡二行諸郡一當二時所一屬。歌
目注歌後
九首
大伴家持怨二鷹晩一ス 晩ク ナクコト 歌一首
大伴家持仲 恐衍字 又造酒歌一首

和銅元年三月丙午從四位下佐伯宿祢太麻呂爲尾張守從三位栗田朝臣眞人爲太宰帥從四位上巨勢朝臣多益須爲大貳乙卯勅太宰府帥大貳并三關及尾張守等始佩伏其負帥八人大貳及尾張守四人三關国守二人 宇眞云佐乞合切音欠佩從使屬

此卷八日記ヘ此卷ニ入ベキ歟ノ當集ノ天平十六年ニ撰スル様ニ三通リ立ツヒテモレタルヲ此卷ニアツメタル様ニ云ハバ雜寺ヘ

安閑紀筑紫豊國我屯倉我屯倉此云阿何
六年ニ撰スル様ニ三通リ立ツヒテモレタルヲ此卷ニアツメタル様ニ云ハバ雜寺ヘ
六年武天皇御製
日妹尓恋吾乃
松原見渡者
今若松乎

天平二年庚午冬十一月太宰帥大伴卿被
任大納言兼帥如舊上京之時陪從(傔従)人等別取海
路入京於是悲傷羈旅各陳所心作歌十首
和我勢兒乎安我松原欲見度遠妻無等女
登母多麻藻可流美由

右一首三野連石守作

(筑前)
奈津乃海之保悲思保美知時波安禮登伊頭
禮乃時加吾孤悲射良牟

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

イソゴトニアマノツリブネハ
伊蘇其登爾海夫乃釣船波
テ氏歟イサリスラシテ
底牟伊蘇乃之良奈久
キノフコソフナデ低宜ハセシカイ
耶日許曾敷奈底婆勢之可
ノナ海ダヲケフミツルカモ
乃奈太乎今日見都流香母
アハチシマトワタルフネノカギ
淡路島刀和多流船乃可治
レズイヘヲシダオモフ
禮受伊弊乎之曾於毛布
タマハヤト玉ナス心乎ムラワタリヲホム又スナコヲモ云コノワタリヲホム又スナコヲモ云
多麻波夜須武庫能和多里
コケバイヘヲシダオモフ
由氣婆家乎之曾於毛布

ヒキナタ氏氏玉カツラ河海
忠見家集ニヨシハリマヘ

新續古歟キミラソ思フ

ヤマトニハアマツリブネハ
夜麻登爾波安麻都利夫祢波
テ氏歟イサリスラシテ
底牟伊蘇乃之良奈久
イサナドリヒ（ヒキノ誰ヘ）チキ
伊佐魚取比治奇
コトルイフトヨミヘ神ト
ノマヲバラキモホコルカモ
乃麻乎婆良伎母保己流可母

イヘニテモタユタフイノチナミノ
伊敝爾弖母多由多布伊能知奈美乃
家爾底毋多由多敷命浪乃宇
バ猶豫不定ヘキ行未ヘク
婆於久香之良受母一云宇
ナホウミノキワカモミラズユク
大海乃於久可母之良受由久
ヤマトトヒシコトラハモ
麻佐武等問之兒等波母
オホブネノウヘニ助ヲシバアヤマ
大船乃宇倍爾之居婆安麻久
ラズタタコツワガ遊女ナドヤ哥ヲウメトモ乞フヘシユクヘシ歌フヘシヌウタモヘトヨメハ毋ヲ乞ヨヲラズ審ノカ後人ノ注ヘ似覚乎
思良受歌忘和我世
アヘヲトメイサリタクヒノ
海未通女伊射里多久火能
ノヘツバラキモホコルカモ
乃松原於毋保由流可聞

ヤヘニモ止ヒ助ヲシテ
八重爾毛思之乎禮
ヤタユヒ助ヲシテバ
夜多由比弖婆
カミラズモ
香美良受母
一云宇
ヤタキテ助ヲシテバ
夜多伎弖婆
クワレヲイツキ
久和禮乎何時伎

右九首作者不審姓名

十年七月七日之夜獨仰天漢聊述懷一首 歌一首

多奈波多之船乗須良之麻蘇鏡吉欲伎月夜
爾雲起和多流 異云雲牛コメリ

右一首大伴宿禰家持

追和太宰之時梅花新歌六首 天平二年正月十三日令帥大伴卿梅花歌三十三首アリシヲ十二年ニ至リテ家持追和ス

民布由都藝芳流波吉多禮登烏梅能芳奈君
爾阿良之婆流比登母奈之 之ヲ

爾之安良禰婆遠流比登毛奈之

烏梅乃花美夜萬等之美爾宿里登母也如此
乃未君波見禮登安可禮奈牟 勢官セト通ス

春雨爾毛延之楊奈疑可烏梅乃花登母爾於
久禮奴須常乃物香聞 能水ア

宇梅能花伊都波乎良自等伊登波奴比登毛
乃盛波乎思吉物奈利

遊内乃多努之吉庭爾梅柳乎理加謝思底婆
意毛比奈之可毛

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

ミソノフノ モ、キノウメノ
御苑布能百木乃宇梅乃
アガリユキトフリケム
安我里雪等敷里家牟

右天平十二年十一月九日大伴宿禰家
持作

是京持自撰ノ證

天平十二年自三秦良ヨリ近郡アリ三香京ハジテ都ヘ
讃三香原新都歌一首并短謌

ヤニヒロノニクニノミヤコハ
山背乃久爾能美夜古波
リアキサレバモミヂバニホヒ
春佐禮播花咲乎乎
理秋佐禮婆黄葉爾保比
ミツセニウチハシワタセル
於婆勢流泉河乃可
美都瀬爾宇知橋和多之
余登瀬爾波宇枳橋
ワタシアリガヨヒツヽ
和多之安里我欲比都
デニ
底爾
可加何
倍麻都良武萬代麻
反哥
右事記ノ文ナメテイサヽカ
神部記仲哀記六十年天皇成務前明年秋九月壬辰朝十四
日幸二淡路一而遊二猟於嶋一時淡路国狭域宿禰
等従レ之
ソラミツヤマトノカハノミヅタエズツカヘ
虚見津山跡乃河波乃水緒多要受都可倍
ツラムキホミヤドコロ
麻都良牟大宮所

右天平十三年二月右馬寮頭境部宿禰老
麻呂作也

右事記ノ文神八井耳ノ等有坂合部連等之祖也

詠霍公鳥歌二首

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

タチバナハトコハナニモガ
多知婆奈波登古波奈尓毛我
キナカバキカヌヒナナムモ
来鳴者伎可奴日奈家牟
タ(蔡ニ)ヌクアフ(棟)ナヲイヘニ(ユノ六)ウエタラバヤト(ホト)
多奴久安布知乎伊敝尓宇恵多良婆夜麻霍
ギスカレズコムカモ
公鳥可禮受許武可聞

右四月二日大伴宿禰書持従奈良宅贈兄
家持和歌二首 三仲

橘(ハアヲ立ナ從橘小者和名ニほス)ノ初咲(テ)ヲ霍公鳥鞜(リナ)嬰(ス)對(ニ)此時候(ニ)誰(カ)不(ン)暢志因(テ)
作(ニ)三首短歌(世一字ラ云證)以(テ)散(レス)鬱(ニ)結之緒(ノ)耳

アシビキノヤマベニフレバホトトギスコノヤ
安之比奇能山邊尓布礼婆保登等藝須許乃夜
タチクバリナカヌヒハナハ
多知久婆利奈加奴日波奈
保登等藝須須奈尓乎可母
保登等藝須須奈尓乎可母
タチバナノタニニユキテサバハナハ
多知婆奈乃多尓尓由吉底左婆波奈波
ツキニキナキトヨムル
月之来鳴登餘牟流
ホトトギスアフチノエダニユキテサバハナハ
保登等藝須安布知乃衣陀尓由吉底左婆波奈波
チラムナタヘトミルニデ
知良牟奈珠登見流麻泥

右四月三日内舎人大伴宿禰家持従久邇
京(ミヤコ)報送弟書持(ニ)

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

思霍公鳥歌一首　田口朝臣馬長作

保登等藝須今之来鳴者餘呂豆代爾可多理

都具倍久所念可母

右傳云一時交遊集宴此日此處霍公鳥不喧仍作件歌以陳思慕之意但其宴所并年月未得詳審也

山部宿禰赤人詠春鶯歌一首

安之比奇能山谷古延底野豆可佐爾今者鳴

良武宇具比須乃許恵

右年月所處未得詳審但隨聞之時記載於茲

十六年四月五日獨居平城故宅作歌六首

橘乃尓保敝流香可聞保登等藝須夜音奈都可思安義指者花者須

雨爾宇都路比奴良牟

保登等藝須夜音奈都可思安義指者花者須

具等毛可禮受加奈可牟

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

タチバナノ 二 ホトヘル ソノニ ホト
橘乃爾保敝流苑爾保等登藝須鳴等比登都
グアミサ、ニシ
具安美佐散麻之乎
アヲニヨシ ナラノミヤコハフリヌレドモト
青丹余之奈良能美夜古波布里奴礼杼母
ホト、ギス ナカズヤラナ
保登等藝須不鳴安良奈久爾
ウグヒナタフ トヒトハオモヘレド
鶯鳴布流之登比等波於毛弊礼杼
ホフコノヤド
保敷許乃屋度
カキツバタキヌニスリツケテスラソノキソ
加吉都播多衣爾須里都氣麻須良雄乃服曽
ヒカリスルツキハキニケリ
比儛須流月者伎爾家里

天平十五年五月廿四日大伴宿禰家持作
右二首大伴宿禰家持独居悲緒

此間脱アルベシ 後人作并見遺ハノコルニ依ヒテ

天平十六年四月五日獨居於
平城故郷舊宅大伴宿禰家持作

天平十八年正月。白雪多零積地數寸也於時
左大臣橘卿率大納言藤原豊成朝臣及諸王
諸臣等參入太上天皇御在所中官院供奉掃雪
於是降詔大臣參議并諸王者令侍于大殿
上諸卿大夫等者令侍于南細殿而則賜海肆
宴勅曰汝諸王卿等聊賦此雪各奏其謌

唐韵云廊音郎和名保曽止乃殿下外屋也

新勅賀 井手左大臣

左大臣橘宿禰應ノ詔ニ歌一首

布流由吉乃 路波久左尓弖 奈久鶯乃 許恵乎聞尓 都礼毛我母 (フルユキノ ミチハクサニデ ナクウグヒスノ コエヲキニ ツレモガモ)

大皇爾 都可倍麻都礼婆 都礼毛我母 (オホキミニ ツカヘマツレバ ツレモガモ)

都禮婆貴久母安流香 (ツレバタフトクモアルカ)

紀朝臣清人 (元明紀元正紀孝謙紀ニ卒ス)應ノ詔ニ歌一首

阿乎尓与志 奈良乃美夜古波 須疑尓家利 (アヲニヨシ ナラノミヤコハ スギニケリ)

安礼尓之許良之 (アレニシコラシ)

天下須泥尓 (アメノシタスデニ)

阿麻久太流 (アマクダル)

雪乃比加里乎 見礼婆可母 (ユキノヒカリヲ ミレバカモ)

禮婆多敷刀久母安流香 (レバタフトクモアルカ)

紀朝臣男梶 (聖武紀孝謙紀廃帝紀) 應ノ詔ニ歌一首

夜麻乃可比 (ヤマノカヒ)

曽許登母見延受 (ソコトモミエズ)

山乃可比 (峡) 比曽許登母 (ヤマノカヒ ヒソコトモ)

見延受乎前 (ミエズヲ)

雪乃布礼婆可母 (ユキノフレレバカモ)

登都日毛 (トツヒモ)

都礼毛伎奴等 (ツレモキヌト)

登都日毛 (トツヒモ)

見延奴等 (ミエヌト)

都礼毛伎奴等 (ツレモキヌト)

登都日毛 (トツヒモ)

見延奴等 (ミエヌト)

都礼毛伎奴等 (ツレモキヌト)

登都日毛 (トツヒモ)

見延奴等 (ミエヌト)

都礼毛伎奴等 (ツレモキヌト)

毛今日毛由吉能布禮禮婆 (モケフモユキノフレレバ)

葛井連諸會 (聖武紀孝謙紀) 應ノ詔ニ歌一首

阿多良之伎等之乃波自米尓 (アタラシキトシノハジメニ)

雪能敷禮流波 (ユキノフレルハ)

新年乃波自米尓豊乃登之思 (アラタシキトシノハジメニトヨノトシ)

流須登奈良思 (ルストナラシ)

大伴宿禰家持 (後成 世ヲ祈ル神ノ心ニ ミトヨノ年ノカクノモレルミヲキミノ心) 應ノ詔ニ歌一首

大宮之宇知尓毛刀尓比賀流麻泥 (オホミヤノウチニモトニカルマデ)

雪見禮杼安可奴香聞 (ユキミレドアカヌカモ)

藤原豊成朝臣 巨勢奈底麿朝臣 (巨定)

大伴牛養宿禰　藤原仲麻呂朝臣
三原王　智努王
船王　邑知王
山田王
穗積朝臣老
小野朝臣綱手　高橋朝臣國足
太朝臣徳太理　高丘連河内
秦忌寸朝元　楢原造東人

右件王卿等應詔作歌依次奏之登時不記其歌漏失但秦忌寸朝元者左大臣橘卿謔曰麝堪賦歌以麝贖之因此默止也

大伴宿禰家持以天平十八年閏七月被任越中國守即取七月赴任所於時姑大伴坂上郎女贈家持歌二首

久佐麻久良多妣由久吉美乎佐伎久安禮等

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

伊波比須恵都安我登許能弊爾（イハヒスヱツアガト床コノ上ベニ）
伊麻能其等古非之久伎美我於毛保要婆伊（イマノゴトコヒシクキミガオモホエバイ）
可爾加母世牟須流須邊乃奈左（カニカモセムスルスベノナサ）

更贈越中國歌二首

多妣爾伊仁思吉美志毛都藝底伊米爾美由（タビニイニシキミシモツギテイメニミユ）
安我加多孤悲乃思氣家禮婆可聞（アガカタコヒノシケケレバカモ）

美知乃奈加久爾都藝可未波多妣由伎母之（美道ノ中ニ不ラヌ君ヲ知ヌ為メグミタハ）
奴伎美乎米具美多麻波奈（良ヌ君ヲ奴ト為ル）

家持ノ恋妻ヲ平群氏女郎贈越中守大伴宿禰家持歌十二首

吉美爾餘里吾名波須須流爾多都多山絶多流（キミニヨリワガナハスデニタツタヤマエタル）
孤悲乃之氣吉許呂可母（コヒノシゲキコロカモ）
須麻比等乃海邊都禰佐良受夜久之保能可流香物（スマビトノウミベツネサラズヤクシホノカカモ）
良吉戀乎母安禮波須流香物（ラキコヒヲモアレハスルカモ）
阿里佐利底能知毛相牟等於母倍許曽都藝底（アリサリテノチモアハムトオモヘバコソツヱテ）
能伊乃知母都藝都追和多禮（ノイノチモツギツツワタレ）

十二ノ廿已出

ナカナカニトナバヤスケム家牟伎美我目乎美
ズヒサシケラバスベナ幼婦ル
受比佐奈良婆須敞奈可流倍思
コモリヌノミタユコヒアリテ
許母利奴能之多由孤悲安麻里志良奈美能
イチジロクイデヌヒトノ
伊知之路久伊泥奴比登乃師流倍久
クサマクラタビニハベク
久佐麻久良多妣爾之婆可久能未也伎
ミヲヤリツツアガコヒヲラム
美乎夜利都追安我孤悲乎良牟
クサマクラタビイニモミガ
草枕多妣伊爾之伎美我可敞里許牟
ヘリコムツキヒヲ
之良牟須邊能思良難久

平群氏ノ人平群氏
天平十二年周防
持モ久近ヘロサケテ
ハ並群ト久ホト遠ク
ヒモ角奈良ヘヤリ子
又飯コヒトクレミ
シニ今ハ剣越ヲヘ
行レトヘ

カクノミヤアガコヒヲラム良水ナ
可久能未也安我故非乎浪牟奴婆多麻能欲
ルノヒモダニトキサケズテ氏一官
流乃比毛太爾登吉佐氣受底
サトチカクキミガナリナバ
佐刀知加久伎美我奈里那婆古非米也等母
トナオモヒニアレゾクヤモ
登奈於毛比此安連曽久夜思伎
ヨロヅヨニコロハトケテリガセコガツ
餘呂豆代爾許已呂波刀氣底和我世古我都
ミニ扶宿ミツ、レノビカヨツモ
美之乎見都追志乃備加禰都母
クタビヌノナククタ谷ヘ原名子ニ
鷺能奈久久良多爾之宇知波米底夜氣波之
ヌトモキミヲシ助ヘタム
奴等母伎美乎之麻多武

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

今松ノトリ上ノ為ニ穂向ヲホシ今トヨム證

（松ノハナナカズニ助モ）麻都能波奈奈可受尓受爾之毛和我勢古我於母
（女比ヘ又ラナクニモトナサキツ）敝良奈久爾母登奈佐吉都追、

右件、十二首、歌者時時寄便使來贈、非在一度所送也

（鎮ニ唐勅ニ云館ニ宿ル）

八月七日、夜集于守大伴宿禰家持館宴歌（多ニ日本紀）

（國守ニバナリワレ孫子ラミルニ云アキノタホムキミガテリワガセコガフサクサト）秋田乃穗牟伎見我底利和我勢古我布佐多
（大和物語ニサイレシミロヲサノムマヤトニ吹バ海カゼニナ有ケレバニヨミテ食ケル　ワタツミト人ヤシルラムアフコトノナミダフカニ泣ツメツレバ沖ツ物佐國ニ立リ巻ニ処ベヨリオカシキ物共アリ主ノ玉ヘリ　日本紀ニ北ノ乃キヌヲヤチニトウデヌサセヨ玉フ）
ヨリケルヲミナヘシカモ
乎里家流乎美奈敝之香物

右一首守大伴宿禰家持作

（漢制以曹為掾如屋之掾言有所承荷）

ヲミナヘシサキタルノベヲ
乎美奈敝之左伎多流野邊乎由伎米具利吉
（ミヲオモヒデ久今宇モ道ノキ折ト云心也キヌ）
美乎念出多母登保里伎奴
（暁カト道ヲ）安吉能欲波阿加登吉左牟之
（ガコロモデキムヨシモガモ）
衣袖伎牟餘之母我毛
（ホト、ギスナキテスギニ助シ）
保登等藝須奈伎底須疑爾之
（カゼフキヌヨシモアラナクニ）
風吹奴余之母安良奈久爾

右三首掾大伴宿禰池主作

（ケサノアサケアキカゼサムシ）
家宅
乎佐能安佐氣秋風左牟之
（トホツヒトカリ則為）
登保都比等加里

我来鳴牟伎知可美香物（ガキナカムトキチカミカモ）
安麻射可流比奈爾月歴奴之可禮登毛由比（アマサカルヒナニツキヘヌレカレドモユヒ）
底之紐乎登伎毛安氣奈久爾（底ノ氏官ニテ助ヒモヲトキモアケナクニ）

右二首守大伴宿禰家持作

安麻射加流比奈爾礼和禮乎宇多我多毛（アマサカルヒナニアルワレヲウタガタモ）
比母毛登吉佐氣底於毛保須良米也（ヒモトキサケテ氏官オモホスラメヤ）

右一首拯大伴宿禰池主

伊弊爾之底由比底師比毛乎登吉佐氣受念（イヘニシテユヒテ弖官シヒモヲトキサケズオモフ）

意緒多禮賀思良牟母（ココロヲタレカシラムモ卯誰モコウジ妹ニ准ヘ）

右一首守大伴宿禰家持作

日晩之乃奈吉奴流登吉波乎美奈弊之佐伎（ヒグラシノナキヌルトキハヲミナヘシサキ）
多流野邊乎遊吉追都見倍之（タルノベヲユキツツミルベシ）

右一首大目秦忌寸八千島

古歌一首　大原高安真人作　年月不審但隨聞時記之

載茲禹（スニ）
伊毛我伊弊爾伊久理能母里乃藤花伊麻許（イモガイヘニイク行リノモリノ十九祖ワキニイクリ大明神ノ乳由モリノ子ノハナイマコ）

牟春毛都禰加久之見牟（ムハルモツネカクシミム）

右一首傳誦僧玄勝是也（妹ニアヒメヨス）

鴈我禰波都可比爾許牟等佐和久良武秋風（カリガネハツカヒニコムトサワグラムアキカゼ）

左無美曽乃可波能倍爾（サムミソノカハノベニ）

馬並底伊射宇知由可奈思夫多爾能伎欲吉（ウマナメテイザウチユカンナシブタノキヨキ）

伊蘇末爾與須流奈弥見（イソマニヨスルナミ）

右二首守大伴宿禰家持

奴婆多麻乃欲波布氣奴良之多末久之氣敷（ヌバタマノヨハフケヌラシタマクシゲフ）

多我美夜麻爾月加多夫伎奴（タガミヤマニツキカタブキヌ）

右一首史生土師宿禰道良（ハジ）

大目秦忌寸八千島之館宴歌一首（オホヒケ）

奈呉能安麻能倍里須流布禰波伊麻許曽波（ナゴノアマノツリスルフネハイマコソハ）

敷奈太那宇知底安倍底許藝泥来（フナ世ダナウチテアヘテコギデメ）

右舘之客屋居望蒼海仍主人八千島作此（ナカ）（ラテ）（ニ）

哀傷長逝之弟歌一首并短歌（書持ノ）

安麻射加流比奈乎佐米爾等大王能麻氣乃
麻爾未爾出而許之和禮乎於久流登青丹余
之奈良夜麻須疑底泉河伎欲吉可波良爾馬
駐和可禮之時爾好去而安禮可弊里許牟平
久伊波比底待登可多良比底許之比乃伎波
美多麻保許能道乎多騰保美山河能弊奈里
底安禮婆孤悲之家口氣奈我枳物能乎見麻
久保里念間爾多麻豆左能使乃家禮婆宇禮

妖言 大御祀 妖偽 大祭祀
光仁紀云右大臣藤原永手薨時詔詞中曰天皇朝乎置而退正闕者而於母富佐久於乎豆礼加母多波許止加母
古今抄レモ此ヲ然ハ人ノ心ノ(キアルヲミル)タニカナレヨモーノ

之美登安我麻知刀敷爾於餘豆禮能多婆許
登、カモハレキヨレ助ナアオトノ登等可毛奈弖乃美許等奈爾之
カモトキレ助ハテラムヲハ院之庭ニ故ニ謂ノ之ヲ花薫庭ト也
加母時之波妄良牟乎婆太須酒吉穂出秋乃
ハギノ芽子花爾保敷流屋戸乎言斯人爲性好愛花
比良氣受佐保能宇知乃里乎往過安之比紀
ノヤニノコヌレニシラクモニタチナビクトア
乃山能許奴禮爾白雲爾多知多奈妣久等安

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

禮爾都氣都流（レニツゲツル 少字宜）佐保山火葬故謂之佐保乃
宇知乃佐刀乎由吉須疑（ウチノサトヲユキスギト）
麻佐吉久登伊比底之物能乎白雲爾多知多
奈妣久登伎氣婆可奈思物（ナビクトキケバカナシモノ）
可加良牟等可禰底思理世婆古之能宇美乃（カカラムトカヲテシリセバコシノウミノ）
安里蘇乃奈美毋見世麻之物能乎（荒磯之名所ニ非ス）（アリソノナミモミセマシモノヲ）

右天平十八年秋九月二十五日越中守大伴宿禰家持遥聞弟喪感傷作之也

相歡歌二首 越中守大伴宿禰家持作

（ニハニフルニキハチ 吐ヘ重ニクシ）庭爾敷流雪波知敷之久毛（テキミヲアガマタナ 此十三字ノ訓ハ第二十六葉ニ我待ニトニ云ヘリ）
底伎美乎安我麻多奈久毛（コグフネノカヂトルニ）
白浪乃余須流伊麻許曽末毛乎榜舩乃可治登流間爾（シラナミノヨスルイソニヲ）（ナクオモホエニキミ）
奈久毛於母保要之伎美

右以天平十八年八月拯大伴宿禰池主附（テテ）大帳使赴（ニオモムク）向京師而同年十一月還到本任（ニス）（ニ）仍設詩酒之宴彈絲飲樂是日也白雪忽降（テノニノヲスルル）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

積地尺餘此時也復漁夫之船入海浮瀾妾
守大伴宿禰家持寄情二毗聊裁所心

忽洗枉疾殆臨泉路仍作謌詞以申悲緒

一首并短歌二首 宮本家持オホキミノ

大王能麻弊氣能麻爾麻爾大夫之情布里於許
之安思比奇能山坂古延底安麻射加流比奈
爾久太理伎伊伎太爾毛伊麻太夜須米受乎
月毛伊久良母阿良奴爾宇都世美能代人奈

是也大伴宿禰家持之作歟

大文史字振起ノ仕処（オモムケ）コロフリオコ

レバウチナビキトコニフシイタクケク
禮婆宇知奈比伎登許尓伏伊多久家久
ノニクラユクラニレタズノミ乃由久良由久良爾思多呉非爾伊都可聞許
武等麻多須良武情左夫之苦波之乃吉與志都
麻能美許登母安氣久禮婆門爾餘里多知已
呂母泥乎遠理加弊之都追由布佐禮婆登許
宇知波良比奴婆多麻能黒髪之吉底伊都之
加登奈氣可須良牟伊母毛勢母和可伎兒

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47
ガラス使用

ド モ ハ ヲ チ コ チ ニ サ ソ ギ ナ ク ラ ム タ ニ ボ
等毛波乎知許知爾佐和吉奈久良牟多麻保
コ ノ ミ チ ヲ タ ド ホ ミ ニ ツカヒモ ヤ ル ヨ シ モ ナ
已能美知乎多騰保彌間使毛夜流余之母奈
シ オ モ ホ シ キ コ ト ツ テ ヤ ラ ズ コ フ ル ニ 助 ド 世
之於母保之伎許登叡都底夜良受孤布流爾思
コ ロ ハ モ エ ヌ タ ニ キ ハ ル イ ノ チ ヲ ナ ド 世
情波毛要奴多麻伎波流伊乃知乎之家騰世
ム ス ベ ノ タ ド キ ヲ シ ラ ニ カ ク ニ テ ヤ 之庭 ア 尼 ラ ム
牟須辨能多騰伎乎之良爾加久尼弖夜安良
シ ヲ ス ラ ニ ナ ゲ キ フ セ フ ル バ ナ ノ チ リ ノ ミ ガ
志乎須良爾奈氣枳布勢良武
ヨ ノ ナ カ ハ カ ズ ナ キ モ ノ カ ハ ル バ
世間波加受奈吉物能可春花乃知里能麻可
ヒ ニ ヌ ベ キ キ モ ヘ バ
比爾恩奴倍吉於母倍婆

ヤ マ カ ハ ノ ソ ギ ヘ ヲ ト ホ ミ ハ シ キ ヨ シ イ モ ヲ
山河乃曽伎敝乎登保美波之之吉余思伊母乎
ア ヒ ミ ズ カ ク ヤ ナ ゲ カ ハ
安比見受可久夜奈氣加牟

右天平十九年春二月二十日越中國守之舘臥病悲傷聊作此歌

守大伴宿禰家持贈攝大伴宿禰池主悲歌二首

忽沈枉疾累旬痛苦禱恃百神旦得消損而
ヒ ニ キ ク ル ヒ ヤ ス ヒ ニ ヨ ロ ヅ ヨ ロ ヅ ノ カ ミ ヲ タ ノ ミ ア サ ユ ヒ ル ヤ ス ム
由身體疼羸筋力怯軟未堪展謝係戀彌深
ヨ シ ミ ニ ヒ ニ キ ツ ル ヒ ヨ ワ ル ス ヂ カ ラ ヨ ワ ヌ ル ヒ ム カ ヘ ヒ ラ ク ル ヒ ク ル ヒ ヒ ニ ケ ル ヒ ヒ ニ ケ ル ヒ ヒ ニ ケ ル ヒ

方今春朝春花流馥於春苑春暮春鶯囀聲於春林對此節侯琴罇可翫矣雖有乘興之感不耐策杖之勞獨臥惟幄之裏聊作寸分之詞曰

波流能波奈伊麻波左加里爾仁保布良牟乎里底加射佐武多治可良毛我母

之謌輕奉机下犯解玉顏其詞曰

伎美登多乎里加射左牟

天平二十年二月二十九日大伴宿禰家持

忽辱芳音翰苑凌雲兼垂倭詩詞林舒錦以吟以詠能蠲慾緒春可樂暮春風景最可怜紅桃灼灼戲蝶回花儛翠柳依依嬌鶯隱葉歌可樂哉淡交促席得意忘言樂矣美矣幽襟足賞哉豈慮乎蘭蕙隔襲琴罇無用空過令節物色輕人乎所惡有此不能默止俗語云以藤續錦聊擬談咲耳

凡春下ヨミ人不知

ヤ（旭心ヒ）ニサケルサクラ（咲）
夜麻可比爾佐家流佐久良乎多太比等米伎
ミニミセテバナニヲカオモハム（氏官）
美爾彌西底婆奈爾乎可於母波牟
ウグヒスノキナクヤマブキ（未必過ん古反）
宇具比須能伎奈久夜麻夫伎宇多賀多母伎
ミガテフレズハナチラメヤモ
美我手敷禮受波奈知良米夜母
（姑）沽洗二日拯大伴宿禰池主
更贈歌一首并短歌
含弘之徳垂恩蓬體不貴之思報慰陋心（載）
荷未（タ）春無堪所（ス）喻也但以稚時不渉遊藝之（戴手）（哉宇）

庭（ニ）横翰之藻自乏乎彫蟲焉幼年未（ヌ之辺一本）逕山柿
之門裁歌之趣詞失乎叢林矣爰辱以（ニ）藤續
錦之言更題（スレ）将（ムト）石同瓊（ニ）
不（ニ）能默止仍（テ）捧（ゲテ）數行式（テ）翻嗤（川）咲其詞（ニ）曰
（家持）オホキミノ（ニ）ケ（テ）ノマニマニ（ニ）
於保吉民能麻氣乃麻爾麻爾（ニ）ナサカルコ
（此間之俗ヨバヒヲ行ヲ白サヌ名ヲ告ノルヲ）
之乎遠佐米爾伊泥底許（マスラノ我サヘ）
ヨノナカノツネカクレワスラ（ス）
余能奈可可都禰之奈家婦（ウチナビキト）
コニコイフレコイタクケクノ（レバ）
許爾已（展）伊布之伊多家苦乃日異麻世婆可奈（ヒニケニニヘセバカナ）

レケ助ク コ家持ニ オモヒテ イラナケク之家口許已爾思出伊良奈家久曾許爾念出ナゲクソラヤスケクナクニ奈氣久蘇良夜須家ム奈久爾於母布蘇良久流レキモノヲアレビキノヤマテ之伎母能乎安之比紀能夜麻伎弊奈里底多ミキモホレキコトモカヨハズタヘキハルマテ麻保許乃美知ノトホケバ麻保許乃美知ノトホケバ美於母保之古許等毛可欲波受多麻伎波流イノチヲレクドセムスベノタドキヲレラ伊能知乎之家登勢牟須辨能多騰吉乎之良ニコモリ井テ オモヒナゲカヒナグサムルコヽロハ爾隠居而念奈氣加比奈具佐牟流許已呂波ナレニハルバナノサケルサカリニオモフドチ奈之爾春花乃佐家流左加里爾於毛敷度知

終一日ヘテ十三

タヲリカザシズハルノノレダミドクルヘ多乎里加射佐受波流乃野能之氣美登孔姚久グウグヒスノコヱダニキカズヲトメ久鶯音太爾伎加受乎登賣良我春菜都麻須トクレナ井ノアカモノスソノハルサメニ等久禮奈爲能赤裳乃須蘇能波流流佐米爾爾ホヒヽツチテカヨフラムト保比比豆知底加欲敷浪牟時盛乎伊多豆良ニスグレヤリレツバレノバ爾須具之夜里都禮思努波勢流君之心乎牟宇ルハレニシコノヨスガラニイモチズニケフモ流波之美此夜須我浪爾伊毛禰受爾今日毛レメラニコヒツヽヲルノヤニサクラバナアレビキ伎宮之賣良爾孤悲都追曾乎流ヒトメダニキアレビキ伎宮安之比奇能夜麻左久良婆奈比等目太爾伎

美等之見底婆妥禮古非米夜母
夜麻扶枳能之氣美登毗久久鷺能許恵乎聞
良牟伎美波登母之毛
伊泥多多武知加良乎奈美等許母里爲底伎
彌爾故布流爾許已呂慶母奈思

三月三日大伴宿禰家持宴

七言晩春三日遊覽一首并序

上已名辰暮春麗景桃花照瞼以分紅桂色
含苔而競緑于時也携手曠望江河之畔訪
友迴(廻)駕(下之)酒水涯須迴過野客之家既而光嗟乎今日所恨徳皇已以爾
章何以攄懐趙遥之趣忽課短筆聊勒四韻云
爾

餘春媚日宜怜賞上已風光足覧遊
柳陌臨江縡袨服桃源通海泛仙舟
雲曩酌桂三清湛羽爵催人九曲流

酌桂酒兮奉清曲 謝恵連

縦酔陶心忘彼我 酩酊無處不淹留

三月四日大伴宿禰池主

昨日述短懷今朝汗耳目更承賜書旦奉不

次死罪謹言。

不遺下賤頻惠徳音英雲星氣逸調過人智

水仁山既韞琳瑯之光彩潘江陸海自坐詩

書之廊廟騁思非常託情有理十歩成章數

篇蒲紙巧遣愁人之重患能除戀者之積思

山柿謌泉比 此如蔑彫龍筆海鑿然得看矣

方知僕之有幸也敬和歌其詞云

憶保枳美能彌許等可之古美安之比奇能夜

麻野佐婆良受安麻射可流比奈毛乎佐牟流

麻須良袁夜奈爾可母能毛布安乎爾余之奈

良治伎可欲布多麻豆佐能都可比多要米也

巳母理古非伊枳豆伎和多利之多毛比余奈

氣可布和賀勢伊爾之弊由伊比都藝久良之

ヨノナカハカズナキモノナレバナクハルノニスミレツムトサトビトノアレニツグラク
餘乃奈加波可受奈伎毛能奈礼婆奈久波流乃尓須美礼都牟等佐刀尓比等能安礼尓都具良久
ヤマビニハサクラバナナクチルハルノニスミレツムトサトビトノアレニツグラク
等母安良牟等佐刀尓比等能安礼尓都具良久
ナクチルハルノニスミレツムトサトビトノアレニツグラク
夜麻備爾波佐久良婆奈奈久知流波流乃尓須美礼都牟等佐刀尓比等能安礼尓都具良久
ナクチルハルノニスミレツムトサトビトノアレニツグラク
奈久之婆奈奈久知流波流乃尓須美礼都牟等佐刀尓比等能安礼尓都具良久
タヘノソデヨリカヘレナイヘノアカモスソビキヲトメラハオモヒミダレテキミニコフラク
多倍乃蘇泥乎利可弊之久礼奈為能安可毛須蘇妣伎乎登売良波於毛比美太礼底伎美尓古布良久
ツマヅキハヒニヒニサヒユクカノホ
都麻都伎波比尓比尓佐比由久加能保
ガモフキミハニクシトオモホユ
我毛布伎美波思久於毛保由
ワガセコニヒスベナリアルガキノホ
和賀勢故尓古非須弊奈利安流我伎能保
カニナゲカフアレレカモ
可尓奈氣加布安禮之可奈思母

三月五日大伴宿禰池主

昨暮來使幸也以垂晩春遊覧之詩今朝累信辱也以賜相招望野之歌一看玉藻稍寫鬱結二吟秀句已蠲愁緒非此馳翫孰能暢

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

心乎但惟下僕稟性難彫闇神靡瑩握翰腐
毫對研忘渴終日因流綴之不能所謂文章
天骨習之不得也豈堪探字勒韻叶和雅篇
哉抑聞鄙里小兒古人言無不酬聊裁拙詠
敬擬解咲焉 閏宜 如今賦言勒韻同斯雅作之
篇豈殊將石同璞唱聲遊走曲歟抑小兒謔
盪誚敬寫葉端式擬亂曰

七言一首

初巳和風拂自輕
歸鴻引蘆迴赴瀛
閨君嘯侶新流曲
雖欲追尋良此宴
遥知染隈脚跡汀

短歌二首

佐家理等母之良受之安良婆母太毛安良牟
已能夜萬夫吉乎美勢追都母等奈
安之可伎能保加爾母伎美我余里多多志孤

悲家禮許魯婆伊米爾見要家禮

三月五日大伴宿禰家持卧病作之。宴

述懐緒歌一首并短歌

妹毛吾毛許巳呂波於夜自多具弊禮登伊夜
奈都可之久相見婆登許波都波奈尓波都奴
眼具之毛奈之爾波思家夜之安我於久亘麻
大王能美許登加之古美阿之比奇能夜麻古
要奴由伎安麻射可流比奈乎左米爾等別来

之曽乃日乃伎波美荒璞能登之由吉我弊利
春花乃宇都呂布麻泥爾相見禰婆伊多母須
弊奈美之伎多倍能蘇泥可弊之都追宿夜於
知受伊米爾波見禮登宇都追爾之多太爾安
良禰婆孤悲之家口知弊爾都母里奴近在者
加弊利爾太仁母宇知由吉底妹我多麻久良
佐之加倍底禰天蒙許萬思乎多麻保巳乃路
波之騰保久關左閉爾弊奈里底安禮許曽與

思恵夜之餘志播安良武曾霍公鳥來鳴牟都
奇爾伊都之加毋波夜又奈里那牟宇乃花乃
爾保弊流山乎余曾能未毋布里佐氣見都追
淡海路爾伊由伎能里多知青丹吉奈良乃吾
家爾奴要鳥能宇良奈氣之都追思多寐爾於
毛比宇良夫禮可麼爾多知由布氣刀比都追
吾乎麻都等奈須良牟妹乎安比底早見牟
安良多麻乃登之可弊流麻泥安比見禰婆許
巳呂毋之努爾於毋保由流香聞
太爾安良禰婆孤悲夜麻受家里
奴婆多麻乃伊米爾波毋等奈安比見禮騰多
安之比奇能夜麻伎弊奈里底等保家騰毋許
巳呂之遊氣婆伊米爾美要家里
春花能宇都路布麻泥爾相見禰婆月日餘美
都追伊毋麻都良牟曾

右三月二十日夜裏忽芳起戀情作大伴

長流物ニ我ノ待ツトナム妹ト云詞ト同イヘリ
新撰万葉ニ忘ノ字ヲ恋ノ字ニ作ル
中納言家持

宿禰家持

立夏四月既經累日而由未聞霍公鳥喧因
（四月節在春）（下上手）

作恨歌二首

安思比奇能夜麻毛知可吉乎保登等藝須都
アレビキノヤマニモチカキヲホトトギスツマデニナカヌ

奇多都麻泥爾奈仁加吉奈可奴
キタツマデニナニカキナカヌ

多麻爾奴久波奈多知婆奈乎等毛之美思巳
タマニヌクハナタチバナヲトモシミシコ
（舊本之字脱今補）

能和我佐刀爾伎柒可受安流良之
ノワガサトニキナカズアルラシ

霍公鳥者立夏之日来鳴必定又越中風土
（舊本者字脱今補）

希有橙橘也因此大伴宿禰家持感發於懷作
（ケウ）（タチバナ）（ナリ）（ヨリ）（ヲ）（カ）（ヲ）（ニ）

聊裁此歌三首
（イサヽカ）（ニ）

二上山賦一首　此山者有射水郡也
（ふたがみやまのうた）（ここに半短歌二首の五字脱せり）（イミヅ）（ノ）（コホリ）（ニ）

伊美都河泊伊由伎米具禮流多麻久之氣布
（イミヅガハ）（ユキメグリ）（ルタマクシゲフ）

多我美也波流佐受流奈乃佐氣流左加利爾安
（タガミヤハルサカリニア）

多我美山者波流流波奈乃佐氣流左加利爾安
（タガミヤマハハルルハナノサケルサカリニア）

吉乃葉乃爾保弊流等伎爾出立底布里佐氣
（キノハノニホヘルトキニイデタチテフリサケ）

見禮婆可奈之伎多麻久之氣布
（ミレバカナシキタマクシゲフ）

良夜見我保之賣加未能須蘇未乃
（ラヤミガホシ）（欲レカラム）（ノスソミノ）

春秋之間各有四節
（春秋ノ間ニ各四節アリ）

立夏四月節在春
（立夏ハ四月ノ節ニ在リ）

若八時鳥四月節ヨリ鳴ハジメケルヲ
（若ハ時鳥四月節ヨリ鳴ハジメケルヲ）

指夏三月名カケテ四月ニ
（指夏三月名カケテ四月ニ）

モラス思ヒカ此時
（モラス思ヒカ此時）

タラク鳴ラム
（タラク鳴ラム）

宝亀十一年十二月甲辰越中国射水郡二上神祠従五位下
（宝亀十一年十二月甲辰越中国射水郡二上神祠従五位下）

ヤマノレヅタニノサキ
夜麻能之多爾能佐吉
ギニヨスルレラナミユ
藝爾餘須流之良奈美由
レホノイヤマレニタユル
之保能伊夜麻之多爾
ヘ從イマノ現カクノゴトモ
弊由伊麻乃乎都豆爾可
ゴトニカケテレノバメ
其等爾加氣底之努波米
レブタニノサキノアリソニヨスルナミイ
之夫多爾能佐伎能安里蘇爾與須流奈美伊
ヤレクレクニイニレヘ
夜思久思久爾伊爾之弊於毛保由
タマクレゲフタガミヤ
多麻久之氣敷多我美也
ヤマノレヅタニノアサナ
夜麻能之多爾能佐伎能安里蘇爾阿佐奈
ギニヨスルレラナミユ
藝爾餘須流之良奈美由敷奈藝爾美知久流
レホノイヤマレニタユル
之保能伊夜麻之多爾
ヘ從イマノ現カクノゴトモ
弊由伊麻乃乎都豆爾可久之

持ナ廿ゴ宴ノウミ歌二首

奈呉能宇美能意吉都之良奈美志吉恩岩爾
於毛保要武可母多知和可禮奈波
我力勢故波多麻爾母我毛柰手爾麻伎底見
都追由可牟乎於吉底伊加婆乎思

右守大伴宿禰家持従正税帳須入京師
仍作此謌聊陳相別之歎 四月二十日 少掾

遊覧布勢水海賦一首并短歌 此海者在射水郡舊江村也

物能乃敷能夜蘇等伴母乃雄乎能於毛布度知許
已呂也良武等宇麻奈米底宇知久知夫利乃
之良奈美能安里蘇爾與須流之夫多爾能佐
吉多母登保理麻都太要能柰我波麻須義底
宇柰比河波伎欲吉勢其等爾宇加波多知可
由吉加久遊岐見都禮騰母曾許母安加爾等
布勢能宇彌爾布禰宇氣須惠底於伎弊許奚
邊爾已伎見禮婆奈藝左爾波安遣牟良佐和

伎之麻未爾波許奴礼（ギシマ未ニハコヌ礼）禮波奈左吉許已婆久毛（禮ハナサキコヘバクモ）
見乃佐夜氣吉加多麻久之氣布多我彌夜麻（見ノサヤケキカタマクシケフタガミヤマ）
爾波布都多能由伎波和可禮受安里我欲比（ニハフツタノユキハワカレズアリガヨヒ）
伊夜登之能波爾於母布度知可久思奈蘇婆（イヤトシノハニオモフドチカクシナソバ）
伊夜登偲能波爾見都追思努播牟（イヤトシノハニミツヽムレノバム）

右守大伴宿禰家持作之

少宰

四月廿四日

敬和（テル）遊覧布勢水海賦一首（ニ）并（ニ）絶

布治奈美波（フヂナミハ）佐岐底知里（サキテチリ）爾伎夜麻（ニキヤマ）爾波（ニハ）保登等藝須（ホトヽギス）奈伎（ナキ）
麻曽佐可理等（マゾサカリト）安之比奇（アシビキ）能夜麻（ノヤマ）爾毛野（ニモノ）
保登等藝須（ホトヽギス）奈伎（ナキ）與米婆（ヨメバ）宇知奈妣久（ウチナビク）許
已呂毛之（コロモシ）努爾曽（ノニソ）保登等藝須（ホトヽギス）奈伎（ナキ）
於毛布度知（オモフドチ）宇麻（ウマ）爾波（ニハ）保登等藝須（ホトヽギス）奈伎（ナキ）
伎多夜麻（キタヤマ）爾（ニ）
布治奈美波（フヂナミハ）伎奴（キヌ）爾波（ニハ）保登等藝須（ホトヽギス）奈伎（ナキ）
麻曽（マソ）保（ホ）爾（ニ）
保登等藝須（ホトヽギス）奈伎（ナキ）與米婆（ヨメバ）宇知奈妣久（ウチナビク）許
已呂毛之（コロモシ）努爾曽（ノニソ）保登等藝須（ホトヽギス）奈伎（ナキ）
已呂毛之（コロモシ）努（ノ

麻欲比可波須等母之伎
レブタニノアリソノサキニオキツナミヨ
之夫多爾能安里蘇乃佐伎爾於枳追奈美余
セクルタヘヤモカタヨリクニカヅラニツクリ
勢久流多麻母可多與理
イモガタメテニヤモイチテウラグハニフ
伊毛我多米底爾麻吉母知底宇良具波之布
セノミヅウミニアヤヒリカヘニアトモヒテ
勢能美豆宇彌爾阿麻夫禰爾麻可治加伊奴
キニロタヘノソテフルノサキチリマガ
吉之路多倍能蘇泥布理可邊之阿登毛比底
ワガコギユケバヲフナヤモサワギサバレナミ
和賀已藝由氣婆乎布能佐伎波奈知利麻我
ヒナギサニハアニガモサワギサバレナミ
比奈伎佐爾波阿之賀毛佐和伎佐射禮奈美

クチテモ井テモコギヌグリミレドモアカ
多知底毛爲底母已藝米具利美禮登母安可
ズアキサラバモミヂノトキニハルサラバ
受安伎佐良婆毛美知能等伎爾波流流佐良婆
ハナノサカリニカモアクモキヤマヌカニ
波奈能佐可利爾可毛久母伎美我麻爾麻
トホ動或クニコソミモアラメタユルヒアラメ
等可久之許曽美母安吉良米々多由流比安
ラメヤ
良米也
ニラナミノヨセクルタヨノアヒダモ
之良奈美能與世久流多麻毛余能安比太母
ツギテニコムキヨキハマベノシラナミ
都藝底民仁許武吉欲伎波麻備乎

右掾大伴宿禰池主作　四月廿六日追和

四月二十六日掾大伴宿禰池主之館錢稅
帳使守大伴宿禰家持宴謌并古歌四首 水通乃雪 一平又九ラ上ラ云方

多麻保許乃美知爾伊泥多知和可禮奈婆見
奴日佐等麻禰美孤悲思家武可毛 下甲モ十九六 サ助 衍字 子ノ間無 ナ通 波宮

一云不見日久彌戀之家牟加毛

右一首大伴宿禰家持作之

和我勢古我久爾弊麻之奈婆保等登藝須奈
可牟佐都奇波多麻乎加

右一首守大伴宿禰家持和

石川朝臣水通橘歌一首

我夜度能花橘乎波奈奈美其米爾多麻爾曽安
我奴久麻多婆呂流之美

右一首傳誦主人大伴宿禰池主云爾 都ニテハ不用都中ニテ用ユル如此云

後撰 河名左大臣 ナカクラ 雪ニ我ミイヘヌ」分香ヲメテヤ ソノ風ノコヌ間ニ

守大伴宿禰家持館飲宴歌一首　四月二十六日

美夜故弊爾多都日知可豆久夜久麻底爾安比見而由可奈故布流比比於保家牟

立山賦一首并短歌　此山者有新河郡也

安麻射可流比奈爾名可加須古思能奈可久
奴知許登其等夜麻波之礼由氣等毛須賞加未能宇
加波波之母佐波爾由氣等毛須賞加未能宇
之波伎伊麻須爾比可波能曾能多知夜麻爾

等許奈都爾伎布理之伎底於婆勢流可多
加比河波能伎欲吉瀬爾安佐欲比其等爾多
都奇利能於毛比須疑米夜安里我欲比伊夜
登之能播仁余増能未母布利佐氣見都々余
呂豆餘能可多良比具佐等伊末太見奴比等
爾母都氣牟於登能未毛名能未母伎吉底登
母之夫流我禰
多知夜麻爾布里於家流由伎乎登已奈都爾

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

三レドモアカズカムカ見禮等母安可受加神武賀良奈良之
カタカニノカハノセキヨ
多加比能可波能瀬伎欲久由久美豆能多
ユルコトナクアリガヨ由流許登叡柰久安里我欲比見牟

四月二十七日大伴宿禰家持作之

敬和立山賦一首并二絶

アサヒサニエソガヒニミユルカムナガラミ
阿佐比左之曾我比爾見由流可無柰我良弥
ナニオバセルニシノヘヲオシワケ
柰爾於婆勢流之良久母能知邊乎於之和氣
アヤソリタカキタチヤマフユナツトワ
安麻曾曾理多可吉多知夜麻布由柰都登和

クコトモナクニヒタヘニキフリサケ
久許等母奈久之路多倍爾遊吉波布里於吉
テイニシヘヨリキニケレバ
底伊爾之邊遊阿理吉仁家禮婆許其毛
イハノカムサビタセヨモノカキリ有ケム
伊波能可牟佐備多末伎波流流伊久代經爾家
ムタテミレドモアヤシミヨタカミ
牟多知底爲底見禮登毛安夜之彌禰太可美
タニヌカミトキチタキツキヨキカフチ
多爾乎布可美等於知多藝都吉欲伎可敷知
ニアサヘラズキリタチワタリコフサレバ
爾安佐左良受綺利多知和多利由布佐禮婆
クモヰタナビキクモヰナスコヽロモシノ
久毛爲多奈須已許呂毛之努
ニタツキリノオモヒスグユクミヅノ
爾多都奇理能於毛比須具佐受由久美豆乃

於等母佐夜氣久與呂豆　余爾伊比都藝由可
牟加波之多要受波　タチヤニフリオケル
知夜麻爾布里於家流　由伎能等許奈都爾
氣受底和多流波可無　奈我良曽
於知多藝都可多加比我波能多延奴期等伊
麻見流比等母夜麻受可欲波牟

右掾大伴宿禰池主和之　四月廿八日

入京漸近悲情難撥述懐一首并一絶

可伎加蘇布敷多我美夜麻爾可牟佐備底多
底流都我能音毛等母延毛於夜自得伎波爾
波之之伎與之和我世乃伎美乎安佐左良受安
比底許登騰比由布佐禮婆手多豆佐波利底
伊美豆河波吉欲伎可布知爾伊泥多知底和
我多知彌禮婆安由能加是伊多久之布氣婆
美奈刀爾波之良奈美多可彌都麻欲夫等須
騰理波佐和久安之可流等安麻乃乎夫禰波

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

イリエコダカヂノオト
伊里延許具加遅能於等
アヤニトモシミシノビ
安夜爾登母志美之怒比
ヲスメロギノヲ食スクニ
乎須賣呂伎能乎須久爾
タチワカレナバキミハ
多知和可禮奈婆伎美波
モタヘボコノミチユク
母多麻保許乃美知由久
タナビクヤマヲイハネ
多奈妣久夜麻乎伊波祢
バコヒシケクノナガ
婆孤悲之家久乃奈我
コヽロヒホトヽギス
許巳呂志伊多思保等
登藝須許恵爾安倍

ナニハヅワガセコヲ見都追志乎禮婆
奈爾波安禮登和賀勢故乎（追ヒ）
オモヒヅヒヤルコトモアリコソ
於毛比夜流許等母安利之乎於保伎美乃美
コトカシコミヲスクニノ
許等可之古美乎須久爾能許等
ワカクサノ（若）ツマノ（妻）ミコトヲ（命）
和可久佐能（足）ツマビタ（結）ヅサヒ（紐）ヲトキサケテ
佐太知伊奈婆於久禮多流阿禮也可奈之伎
タビニユクキミカモコヨ
多妣爾由久伎美可母孤悲無於毛布蘇良夜
スクアラコバナゲカクヲ
須久安良禰婆奈氣可久乎
ミワタセバヲヒナヤコトノ
見和多勢婆宇能波奈夜麻乃保等登藝須禰

（脇帯果ヒアヒクノリコシツクロフモ　許明ヒ）

和名越中國ニトナ

ノミニ助ナカユアサギリノ
能未之奈可由安佐疑理能義太流流許已呂
コトニイデ、イハバユヤシキミガ
許登爾伊泥底伊波婆由遊思美刀奈美夜麻
タムケノカミニヌサヲツリアガコヒノ祷ヲ
多牟氣能可味爾奴佐麻都里安我許比能麻
クハヒケヤニキミガ
久波之家夜之吉美賀多太可乎麻佐吉久毛
アリタ助モトヨ廻ホリツキタ、
安里多母等保利都奇多々婆等伎毛可波佐
ズナデシコガハナノサカ
受奈泥之故我波奈乃佐可里爾阿比見之米
タヘボコノミチノカミタチ（擬中ニ才ヒ）ハセムア
多麻保許能義知麻比波勢牟安

（十二丁ウ　十六丁ウ）

賀於毛布伎美乎奈都可之美勢余
ウラゴヒシワガゼノキミハナデシコガハ
多良故非之和賀勢能伎美波奈泥之故我波
奈爾毛我母奈安佐奈佐奈美爾毛我母奈安佐奈見牟

右大伴宿禰池主報贈和歌　五月二日

思放逸鷹夢見感悦作歌一首并短歌

オホキミノトホノミカドト
大王乃等保能美可度尊
アルアレバヤマタカミカハ
弊流安麻射可流比奈爾之安禮婆山高美河
トホシロシヲヒロミクサコソシゲキアレ
登保之呂思野乎比呂美久佐許曽之氣吉安
ユハシルナツノサカリヲ
由波之流奈都能左加利
ツドリヲカヒ
等之麻都等里鵐養
ガトモカヘコクカハノキヨキセゴトニカバ
我登母波由久加波乃伎欲吉瀬其登爾可賀
リサシナツヅサヒノボル
里左之奈豆左比能保流露霜乃安伎爾伊多
レバノモサハニトリスラヲ
禮波野毛佐波爾等里須太家里等麻須良乎
ノトモイザナヒテタカハシモアレ
能登母伊射奈比底多加波之母安麻多安禮
ドモヤカタヲノアガオホグロニ
等母矢形尾乃安我大黒爾大黒者蒼鷹之名也之良奴
リノスベトリツケテアサガリニイホツトリタテ
里能鈴登里都氣底朝獦爾伊保都登里多底
ユフガリニチドリフミタテオフゴトニコルス
暮獦爾知登理布美多底於敷其等爾由流須

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

許等奈久手放毛乎知母可
伎底麻多波安里我多之左奈良弊流多可波
奈家牟等情爾波於毛比保許里底恵麻比都
追和多流安比太爾多夫礼
奈乃許等太爾母吾爾波都氣受等乃具母利
安米能布流日乎等我理須等名乃未乎能里
底三島野乎曽我比爾見都追二上山登姚古
要底久母我久理可氣理伊爾伎等可弊理伎

許等奈久手放毛乎知母可夜須伎許禮乎於
伎底麻多波安里我多之左奈良弊流多可波
奈家牟等情爾波於毛比保許里底恵麻比都
追和多流安比太爾多夫礼
奈乃許等太爾母吾爾波都氣受等乃具母利
安米能布流日乎等我理須等名乃未乎能里
底三島野乎曽我比爾見都追二上山登姚古
要底久母我久理可氣理伊爾伎等可弊理伎

底之波夫礼都具礼禮呼久餘思乃曽許爾奈家
氣太之久毛安布許等安里之比奇能
倍已比能美底安我麻都等吉爾乎登賣良我
伊米爾都具良久奈我古敷流曽能保追多加

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

波麻都太要乃波麻由伎具良之都奈之等流
ヒミノエスギテタコノヒ
比美乃江過底多古能登毛登保里
アレガモノスダクフルエニヲトツヒモキノ
安之我母能須太久舊江爾乎等都日毛伎能
フモアリツチカクアラバイニフニツカタ
敷母安里追知加久安良波伊麻布都可太末
トホクアラバナヌ助ノウチハスギメヤモ
等保久安良婆奈ヒ奴可乃宇知波須疑米也母
キナムクガセコヲモヨ
伎奈牟和我勢故禰毛許呂爾奈孤悲曽余等
ゾ仮ヨマヽニツケツル
曽伊麻爾都氣都流
ヤカタヌノタカヲテニスヱミレヽノニカラ
矢形尾能多加乎手爾須恵美之麻野爾可良

ヌヒヽ間好クツキブヘ
奴日麻禰久都奇曽倍爾家流
フタガニノヲテモコヒノ面モニ
二上能乎底母許能母母
ツタカヲイメニツゲヘ
都多可乎伊米爾都氣追母
アレカモサ助ヤ山ヽダノ
麻追我弊里之比爾底安禮可母佐夜麻太乃
ヲヂカノヒニモトメアハズケム
乎治我其日爾母等米安波受家牟

コヽロニハユルフコトナク
情爾波由流布許等奈久
クノミヤコヒワタリオ
久能未也孤悲和多利奈牟

右射水郡古江村取

秀群也於時養吏山田史君麿調試失節野
鴈玉(タマ)候搏風之翅高翔匿雲腐鼠之餌呼留
縻驗於是張設羅網窺乎非常奉幣神祇特
乎不虞也與以夢裏有娘子喻曰使君勿作
苦念空費精神(上ニ彼ノ)放逸彼鷹獲得末幾矣哉須
史覺寤有悦於懷因作却恨之歌式旌感信
守大伴宿禰家持　九月二十六日作也
高市連黒人謌一首　年月不審

メヒノノヘスヘキ
背比能野能須々吉於之奈倍布流由伎爾夜
度加流家敷之可奈之久夕於毛倍遊

右傳誦此謌(スルハ)三國真人五百國是也

東風(アユノカゼ)越(ハ)俗語(ニ)東風謂(ニ)之(シテ)伊多久夫(タクフ)良(ラ)之奈(ニナ)与
安由(ト)乃可(ト)是(ノ)也　アヒニノッリスルヲ(チコギカクルミユ)
乃安麻能都利須流乎夫禰許藝可久流見由
ニナトカザサムクフクヲ
美奈刀可世佐牟久布久良之奈与乃江爾都
ヨビカハニタヅサハ(ナク)
麻欲比可波之多豆左波爾奈久
一云多豆佐和久奈里(タヅサワグナリ)

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

天平十三年十二月
丙戌能登国守越
中国

安麻射可流比来等毛之流久許已太久母之
氣伎孤悲可毛来與流日毛奈久
故之能宇美能信濃乃波麻乎由伎久良
之奈我伎波流比毛和須禮底於毛倍也

右四首天平二十年春正月二十九日大
伴宿禰家持

礪波郡雄神河邊作歌一首

神名帳越中国砺波郡雄神神社三代實録八貞觀十二年九月廿九日詔授越中国正五位上雄神神従四位下

婦負郡渡鵜坂河邊時作歌一首

見潜鸕人作歌一首

貴比河波能波夜伎瀬其等爾可我里佐之夜
蘇登毛乃乎波宇加波多知家里
新河郡渡延槻河時作歌一首

是より多治比能家持
国司多大明神ノ条
詞ノ通ズルヲ以テ
ココニ入レタリ

附水松等流登湍爾多多須良之

婦負郡渡鵜坂河邊時作歌一首

宇佐可河泊和多流瀬於保美許詩乃安我馬乃
安我枳乃美豆爾伎奴奴禮爾家里

見潜鸕人作歌一首

貴比河波能波夜伎瀬其等爾可我里佐之夜
蘇登毛乃乎波宇加波多知家里
新河郡渡延槻河時作歌一首

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

家持能登ニ下向シテ治メラルヽ日ノ歌

多知夜麻乃由吉之久良之毛波比都奇能可
ハノワタリザ(鐙ヲ踏ム意)ツ(衍カ)ヅモ
波能和多理瀬安夫美都加須毛(馬ノアユミツク)

赴(フサヌ)參(マヰ)氣比大神宮(氣多ノ神ハ能登羽咋郡ニ氣比ハ越前ノ敦賀郡ニメス大ニ方角違ヒノ誤也)行海邊之時作歌一首

ニヂカラタ(直道ヘ)ゴエニクシ
之乎路可良多太古要久禮婆波久比能海安
サナギニ(和名久久比岐)ヲヌリフ(舟カヂモガ)テヌ
佐奈藝思多理船梶母我毛

能登郡從香嶋津發(フナダチ)船(下上手サシテ)行於射水郡(和名久々比岐)到(テ)
夫(オホ)佐多底船木伎流等伊(幾)有能登乃島山今
(ブサタテノナギ、ハルトイフ布宜ノトノレヽヤマケ)

作歌二首

水上ニテ石ハ神武天皇之手神即皇后之年紀等ニ出

和名能登

フミレバコダチニゲニモイクヨカミビソ(神サビメリ)
日見者許太知之氣思物伊久代神備曽
カニヘヨリクヘキヲツリテコグフネノカヂ
香島欲里久麻吉乎左之奴爾藝之河波
トルマヽナクミヤコニ(助オモホコ)
等流間奈久京師之於母保由

作歌一首

鳳(オホトリ)至(ノ)郡渡饒(ニギシ)石河之時作歌一首
ナリヌニギシガハ
伊毛爾安波受比左思久
イモニアハズニサシクラハ(テナ)
伎欲吉瀬其登爾美奈宇良波倍底(テナ)奈(衍)
キヨキセゴトニミナウラハヘテ(寧本先之)

從珠洲(スヾヒノ久ス)郡發(フナダチ)船還太沼郡(越中ノ初咋郡ノ太海郷ヘシ誤リ)之時泊(テ)長濱(ウラマニ)作(ル)
見(テ)月光(ヒカリ)作(ル)歌一首

スベノウエニアサビラキテコギクレバ
珠洲能宇美尓安佐妣良伎弖許藝久礼婆
ナガハマノウラニツキテリニケリ
奈我波麻能宇良尓都伎弖里尓家里

右件謌詞者依春出舉巡行諸郡當時所屬目作之大伴宿禰家持

悪駕晩蜂歌一首

ウグヒスハイマハナカムトカタミコトバカ
宇具比須波伊麻波奈可牟等可多美許等波可
スミタナビキツツハヘルヨシ
須美多奈妣吉都都奇波倍爾都追

造酒歌一首

ナカトミノフトノリトゴトイヒハラヘア
奈加等美乃敷刀能里等其等伊比波良倍安
ガフイノチモタガタメニナレ
賀布伊能知毛多我多米尓奈禮

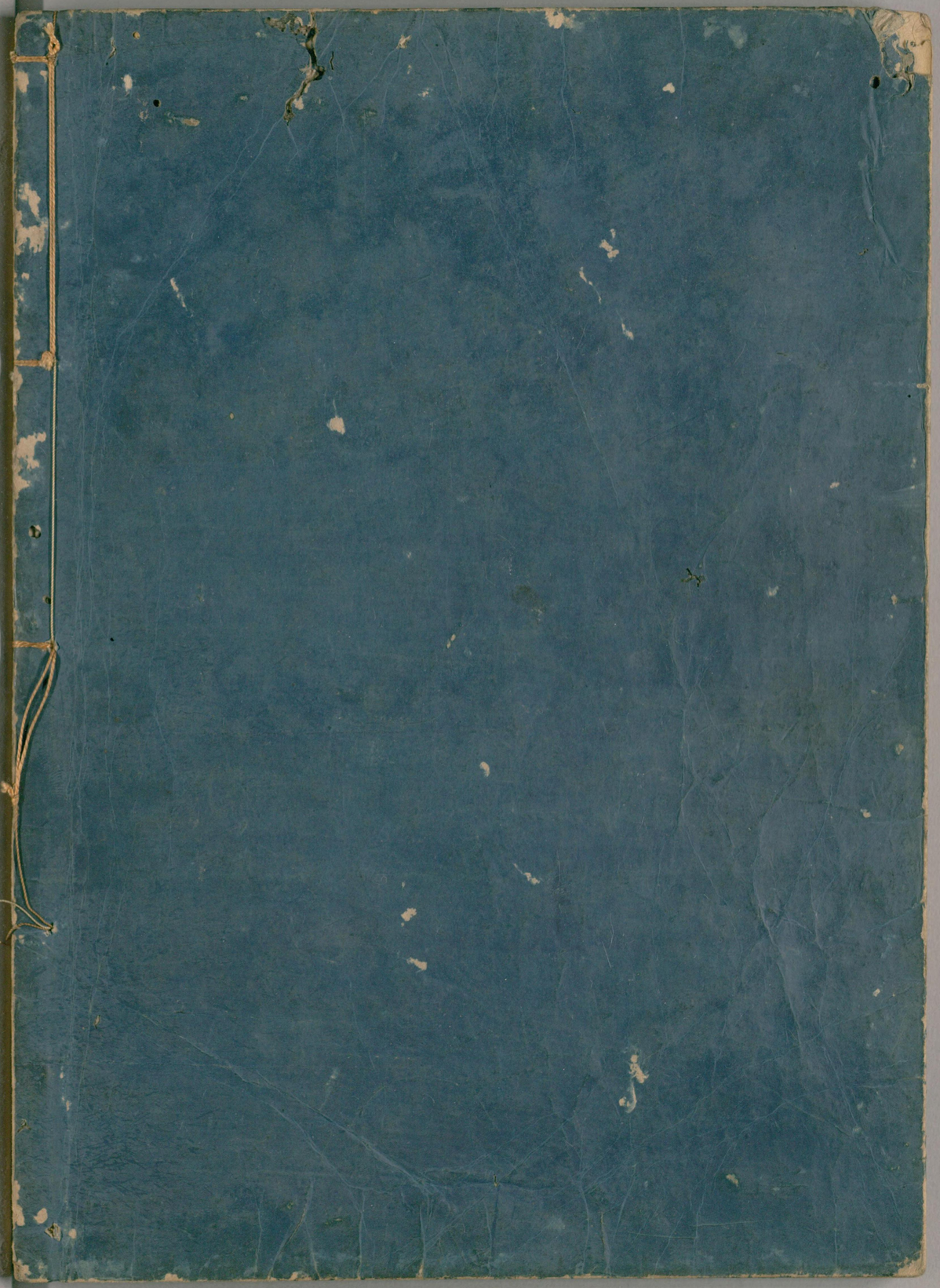
右大伴宿禰家持作之

神代紀上乃使天兒屋根命掌其解除之太詔辭而宣焉
延喜式第八祈年祭祠祝詞次外諸社中臣氏祝詞
延喜式第四下造酒式

857
47

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用